

3. 歳出決算の概要

(1) 歳出決算の概要

23年度の一般会計歳出決算のうち、前年度決算と比べ、増減が大きかった主な費目は以下のとおりです。

- ①総務費： 東日本大震災への対応に伴う退職延長によって22年度に支出予定であった退職手当を23年度に支出したことなどにより、前年度と比べ38億5,900万円（4.6%）の増となっています。
- ②子ども青少年費： 子ども手当の通年支給や保育所運営費の増などにより、前年度と比べ153億4,000万円（8.1%）の増となっています。
- ③健康福祉費： 生活保護費やワクチン接種費用の増などにより、前年度と比べ112億5,900万円（4.3%）の増となっています。
- ④経済観光費： 中小企業制度融資事業における預託額の減などにより、前年度と比べ82億8,500万円（▲8.7%）の減となっています。
- ⑤港湾費： 国直轄事業の減による港湾整備費負担金の減などにより、前年度と比べ60億8,800万円（▲25.2%）の減となっています。
- ⑥消防費： 災害対策備蓄物資の購入量の増や消防庁舎建設費の増などにより、前年度と比べ29億800万円（7.8%）の増となっています。
- ⑦教育費： 市立学校空調設備設置費の増などにより、前年度と比べ16億5,000万円（2.1%）の増となっています。

◇一般会計歳出費目別（款別）決算額の前年度対比

（単位：百万円）

款名	23年度決算①（構成比）	22年度決算②（構成比）	増減①-②	増減率
議会費	3,190 (0.2%)	2,892 (0.2%)	298	10.3%
総務費	87,443 (6.3%)	83,584 (6.1%)	3,859	4.6%
市民費	39,457 (2.9%)	39,149 (2.9%)	308	0.8%
子ども青少年費	205,716 (14.9%)	190,376 (13.9%)	15,340	8.1%
健康福祉費	275,047 (19.9%)	263,788 (19.3%)	11,259	4.3%
環境創造費	33,835 (2.5%)	36,625 (2.7%)	▲2,790	▲7.6%
資源循環費	42,513 (3.1%)	43,336 (3.2%)	▲823	▲1.9%
経済観光費	87,168 (6.3%)	95,453 (7.0%)	▲8,285	▲8.7%
建築費	20,955 (1.5%)	21,290 (1.6%)	▲335	▲1.6%
都市整備費	12,782 (0.9%)	16,235 (1.2%)	▲3,453	▲21.3%
道路費	65,357 (4.7%)	68,696 (5.0%)	▲3,339	▲4.9%
港湾費	18,024 (1.3%)	24,112 (1.8%)	▲6,088	▲25.2%
消防費	40,028 (2.9%)	37,120 (2.7%)	2,908	7.8%
教育費	78,556 (5.7%)	76,906 (5.6%)	1,650	2.1%
公債費	184,092 (13.3%)	182,858 (13.4%)	1,234	0.7%
諸支出金	185,536 (13.4%)	186,553 (13.6%)	▲1,017	▲0.5%
歳出合計	1,379,699 (100.0%)	1,368,973 (100.0%)	10,727	0.8%

(2) 予算の執行状況

最終予算額 1 兆 4,291 億 3,100 万円に対し、歳出決算額は 1 兆 3,796 億 9,900 万円となり、執行率は 96.5%でした。この差額の内訳は、24 年度への繰越額 219 億 9,700 万円及び執行残額 274 億 3,500 万円となっています。

翌年度への繰越額が前年度に比べ増加していますが、これは、東日本大震災への対応として国が行った第3次補正に対応した事業（例：市立学校耐震対策事業）や、23 年度 2 月補正において 24 年度予算の前倒しを行った事業（例：市立学校空調設備設置事業）を翌年度に繰り越したことなどによるものです。

また、執行残額が前年度に比べ増加しているのは、市民生活や市内経済を守るために必要な事業を実施する一方で、これまでと同様に事務経費の節減に努めたほか、ワクチン接種緊急促進事業において接種者が想定よりも少なかったこと、利息が想定よりも減少したことなどにより公債費に余剰が発生したことなどによるものです。

(単位: 百万円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
最終予算額 (A)	1,369,554	1,451,009	1,570,925	1,410,066	1,429,131
歳出決算額 (B)	1,320,873	1,345,165	1,504,090	1,368,973	1,379,699
差 引 (A) - (B)	48,680	105,844	66,835	41,093	49,431
翌年度への繰越額	23,918	(※)81,836	30,625	17,303	21,997
	執行残額	24,762	24,008	36,211	23,790
執行率 (B/A)	96.4%	92.7%	95.7%	97.1%	96.5%

※20年度の繰越額には、定額給付金給付事業57,979百万円が含まれています。

◇参考：市民1人あたりの決算

みなさまに納めていただいた税金などの収入は、福祉や子育て・教育などのほか、ごみ処理や街づくりなど、幅広い分野に使われています。

